

令和4年度 企画政策部 施策展開方針 計画書

1. まちづくり政策(企画政策部関係分)

政策 05 都 市 基 盤	政策展開の方向性							
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。							
	令和4年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）							
	05-01 市街地整備の推進							
	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランに基づき、「駅を中心とした集約型都市構造」「地域経済の活性化」「災害に強い安全・安心な都市環境」「江別市の特性を活かした魅力ある都市」を都市づくりの目標とし、土地利用や都市施設の整備などを進めます。目標実現に向け、引き続き関係機関等と協議調整を進めるとともに、各関連個別計画を推進します。 ・高齢者や子育て世代などの市内居住維持や移住による定住促進に取り組みます。引き続き、PR活動や地域おこし協力隊による情報発信等を進めます。 ・駅周辺の交通施設整備に合わせたバリアフリー化を関係機関等とともに進めます。 							
	05-02 交通環境の充実							
	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の地域公共交通網形成計画に基づき、路線バスの利用促進に関する事業を推進するとともに、地域公共交通活性化協議会を通じて、持続可能な公共交通を維持・確保するための新たな計画策定に向けた協議・検討を進めます。 							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H30年度	R元年度	R2年度	目標
	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)		%	76.7	80.0	82.7	82.7	↗
	交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)		%	57.9	63.6	66.6	64.3	↗
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況								
「定住促進事業」 定住に関する相談対応件数		件	3	17	35	48	↗	
「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員		千人	548	548	518	385	→	

政策 08	政策展開の方向性																										
	江別市自治基本条例の理念に基づき、市政への市民参加を進めるとともに、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携して魅力ある協働のまちづくりを推進します。また、グローバルな視点に立ち、人材・団体の育成を進め、在住外国人とも協力し合うなど、国際交流を推進します。																										
協働	令和4年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）																										
	08-01 協働のまちづくりの推進																										
<ul style="list-style-type: none"> ・市内4大学が江別市にとっての知的資源、財産であることを踏まえ、大学と地域の連携を進めるため、調査研究助成事業や学生地域活動支援事業の成果を広く発信していきます。 ・若い世代の大都市圏流出が課題となっている中、市内4大学に約1万人の学生が在籍している地域特性を生かし、学生と地域活動(インターンシップやボランティア活動等)のマッチングをします。新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、オンラインで地域企業へのインターンシップ等を企画し、企業及び学生が参加しやすい環境で実施をすることで、学生の地域定着と大学の活性化を図ります。 ・市内4大学の学生等に対し、スマホアプリによる情報発信や地域交流会を通じ、市の認知度の向上のほか、将来の定住促進を図ります。 ・友好都市高知県土佐市との市民相互による交流事業などを推進します。小中学生相互派遣や両市特産品PR等による地域振興を柱とした交流事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、状況に応じてオンラインを活用するなど、関係団体等と協力しながら、両市の友好親善を一層深め、協力体制の強化を図ります。 																											
08-02 国際交流の推進																											
<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流を担う市民や団体を育成するため、姉妹都市グresham市との交流事業などを推進します。中高生相互派遣事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、状況に応じてオンラインを活用するなど、関係団体等と協力しながら、国際理解の向上を図ります。 ・国際交流員や国際センターとの連携により、在住外国人が生活するうえで必要な情報の発信や、国際交流イベント等の開催のほか、外国人技能実習生等が日本語を学べる機会を提供するなど、外国人にとって住みよいまちづくりを進めます。 ・令和4年度は、グresham市との姉妹都市提携45周年を迎えることから、両市の親交を一層深めるため、記念事業を実施します。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、相互訪問は見送り、オンライン交流などについて、両市の関係団体等と実施手法を協議します。 																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>政策の成果指標</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>H30年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合</td> <td>%</td> <td>23.1</td> <td>23.1</td> <td>34.1</td> <td>31.8</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合</td> <td>%</td> <td>42.7</td> <td>51.8</td> <td>50.6</td> <td>56.4</td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							政策の成果指標	単位	(初期値)	H30年度	R元年度	R2年度	目標	協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合	%	23.1	23.1	34.1	31.8	↗	お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合	%	42.7	51.8	50.6	56.4	↗
政策の成果指標	単位	(初期値)	H30年度	R元年度	R2年度	目標																					
協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合	%	23.1	23.1	34.1	31.8	↗																					
お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合	%	42.7	51.8	50.6	56.4	↗																					
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況																											
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「大学連携調査研究助成事業」 「大学連携学生地域活動支援事業」 補助事業申請件数</td> <td>件</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>「国際交流情報提供事業」 国際交流員が携わった地域国際化のための講座・イベント等の参加者数</td> <td>人</td> <td>895</td> <td>1,233</td> <td>1,138</td> <td>67</td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							「大学連携調査研究助成事業」 「大学連携学生地域活動支援事業」 補助事業申請件数	件	6	11	10	5	↗	「国際交流情報提供事業」 国際交流員が携わった地域国際化のための講座・イベント等の参加者数	人	895	1,233	1,138	67	↗							
「大学連携調査研究助成事業」 「大学連携学生地域活動支援事業」 補助事業申請件数	件	6	11	10	5	↗																					
「国際交流情報提供事業」 国際交流員が携わった地域国際化のための講座・イベント等の参加者数	人	895	1,233	1,138	67	↗																					

政策 09 計 画 推 進	政策展開の方向性							
	効率的な行政サービスの執行と健全な財政の確保により、市の基礎自治体としての機能を充実させ、自主・自立の市政運営を推進します。また、市政の透明性を確保するとともに、市民と市の情報共有を図るため、広報広聴の充実を図り、情報公開や個人情報保護制度を適正に運用します。 さらに、男女共同参画による市政運営を推進するために、男女平等意識の醸成に努めます。							
	令和4年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）							
	09-01 自主・自立の市政運営の推進							
	<ul style="list-style-type: none"> ・第6次江別市総合計画を効果的に推進するため、行政評価システムを活用したPDCAサイクルによる進行管理を継続し、まちづくり政策と未来戦略の成果向上を図ります。また、評価の質を向上させるため、ヒアリングを重視した外部評価を実施します。 ・「江別市行政改革大綱」に基づき、時代や環境の変化に合わせた行政運営手法を構築します。また、大綱に掲げる基本目標の実現のため、「江別市行政改革推進計画」を推進することで、行革項目の着実な実行を図るとともに、次期大綱の改訂に向けた準備を進めていきます。 ・さっぽろ連携中枢都市圏の枠組みを通して近隣市町村と各種広域連携事業を実施することにより、江別市の魅力や認知度の向上を目指します。 							
	09-02 透明性と情報発信力の高い市政の推進							
	<ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモートにより江別市の魅力や取り組みを発信します。引き続き食を核に、札幌圏の子育て世代を主要ターゲットとしたPR活動など、江別シティプロモート推進協議会による官民一体の活動に取り組みます。 ・市民と行政情報の共有化を推進し、市政への理解を深めるために、市民が状況に応じて行政情報を入手できる環境整備を進め、様々な機会を通じて市民が意見を提案しやすい環境づくりに努めます。そのために、市民に親しまれる広報誌として、タイムリーな特集記事やコラム記事の充実など、誰もが読みやすく理解しやすい誌面の工夫を進めるとともに、誌面、ホームページ、SNSの連携に努めます。一方で、関心の高いテーマは広報活動と連動させながら、市民の意見が市政に反映されやすいように、市民にわかりやすい広聴の充実等を図っていきます。 							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H30年度	R元年度	R2年度	目標
	市政運営に満足している市民割合		%	64.7	62.3	73.2	67.5	↗
	行政情報の共有化を感じる市民割合		%	72.7	70.0	79.7	74.7	↗
男女が平等だと思う市民割合		%	48.7	46.5	53.1	50.3	↗	
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況								
「行政評価・外部評価推進事業」 まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合		%	-	64.4	87.9	86	↗	
「行政評価・外部評価推進事業」 計画的に成果が上がっている事務事業の割合		%	93.0	90.3	85.6	61.4	↗	
「広報えべつ発行事業」 広報えべつを読んでいる市民の割合		%	84.8	84.5	81.7	76.9	↗	

2. えべつ未来戦略(企画政策部関係分)

戦 略	■具体的施策 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦 略 2 安心して子どもを産み育てることができる まちづくり	
戦 略 3 子どもから大人までいきいきと 健康に暮らせるまちづくり	①健康増進活動の推進 「生涯活躍のまち整備事業」(政策推進課)

3. 企画政策部の資源

		実 績			予算額	
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	234,874	114,053	256,024	183,407	193,186
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	234,874	114,053	256,024	183,407	193,186
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	31.00	30.00	31.00	31.00	31.00
	平均単価 (b)	7,627	7,687	7,629	7,602	7,768
	人件費 (a×b)	236,437	230,610	236,499	235,662	240,808
総 額		471,311	344,663	492,523	419,069	433,994